

## ★B型肝炎予防接種の前に必ず読みましょう

### B型肝炎

B型肝炎は血液を介する感染です。B型肝炎ウイルス（HBV）感染を受けると、急性肝炎となりそのまま回復する場合（一過性感染）と慢性肝炎（持続感染）があります。急性肝炎の症状は、黄疸、全身倦怠感、食欲不振、悪心、嘔吐などで多くは3か月以内に治癒しますが、一部劇症肝炎とって、激しい症状から死に至ることもあります。また、症状としては明らかにならないままウイルスが肝臓の中に潜み、年月を経て慢性肝炎・肝硬変・肝がんなどになることがあります。ことに年齢が小さいほど、急性肝炎の症状は軽いかあるいは症状はあまりはっきりしない一方、ウイルスがそのまま潜んでしまう持続感染の形をとりやすいことが知られています。

### 組換え沈降B型肝炎ワクチン

酵母により産生されたHBs抗原をつかった不活化ワクチンです。このワクチンを受けた者のうち、約9.9%の者に副反応が認められたという報告がありました。主な副反応は、倦怠感、頭痛・頭重感、発熱、局所における疼痛、腫脹、硬結、熱感などです。まれにショック、アナフィラキシー（血圧低下、呼吸困難、顔面蒼白等）が現れることがあるので、接種後は観察を十分に行い、異常が認められた場合には、医師の診察を受けてください。

### <B型肝炎予防接種の受け方>

接種対象月齢	標準的な接種期間	接種回数と間隔
生後1歳に至るまでの間 (ただし、平成28年4月1日 以後に生まれたお子さん)	生後2月に至った時から 生後9月に至るまで	27日以上の間隔をおいて2回接種した後、 第1回目の注射から、139日以上の間隔をお いて1回接種する

※平成28年10月1日現在、国から示された方法によるものです

### 接種後の注意事項

- (1) 接種後30分間は、ショックやアナフィラキシーがおこることがありますので、医師とすぐ連絡がとれるようにしておきましょう。
- (2) 接種後に高熱やけいれんなどの異常が出現した場合は速やかに医師の診察を受けてください。
- (3) 接種後4週間は体調に注意しましょう。また、接種後、腫れが目立つときや機嫌悪くなったときなどは医師にご相談ください。
- (4) このワクチンの接種後、違う種類のワクチンを接種する場合には、6日以上の間隔をあける必要があります
- (5) 接種部位は清潔に保ちましょう。入浴は問題ありませんが、接種部位をこすることはやめましょう。
- (6) 接種後当日は激しい運動はさけてください。その他はいつも通りの生活で結構です。

